

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期野辺地町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県上北郡野辺地町

3 地域再生計画の区域

青森県上北郡野辺地町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1980年の18,419人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2025年3月末では11,742人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2065年には総人口が3,848人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1955年の6,797人をピークに一貫して減少しており、2065年には143人となる見込みである。一方、老年人口（65歳以上）は1950年の689人から2020年には4,713人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1980年の12,058人をピークに減少傾向にあり、2020年には6,559人となっている。

自然動態をみると、出生数は1975年の333人以降一貫して減少し、2024年には40人となっている。その一方で、死亡数は2024年に240人と増加が続いており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲200人（自然減）となっている。

社会動態をみると、2000年には転入者（701人）が転出者（649人）を上回る社会増（52人）であった。しかし、本町の労働条件、特に給与水準は全国平均を下回っており、進学や就職を機に若年層が転出する状況が常態化し、2023年には▲70人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴

う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

上記の課題に対応するため、地域経済の稼ぐ力の強化、安心して暮らせる生活環境の創出、地域の魅力を高める取組を包括的に推進し、若者や女性をはじめとする様々な人々に選ばれ、住み続けられる持続可能な地域社会を目指す。これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標① 地域経済の再興と雇用創出
- ・基本目標② 暮らしやすさの向上と定住促進
- ・基本目標③ 安心して子育て・暮らせる福祉・医療体制の強化
- ・基本目標④ 人財育成と郷土愛の醸成

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	年間観光入込客数(人/年)	172,975	300,000	基本目標①
ア	ふるさと納税額(万円/年)	438.2	1,000	基本目標①
イ	移住者数(人/累計)	4	10	基本目標②
ウ	出生数(人/年)	34	現状維持	基本目標③
エ	住民基本台帳に基づく15歳から39歳の人口割合(%/年)	18.8	18.8	基本目標④

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期野辺地町まち・ひと・しごと創生事業

ア 地域経済の再興と雇用創出事業

イ 暮らしやすさの向上と定住促進事業

ウ 安心して子育て・暮らせる福祉・医療体制の強化事業

エ 人財育成と郷土愛の醸成事業

② 事業の内容

ア 地域経済の再興と雇用創出事業

農林水産業の高度化や企業誘致、テレワーク環境の整備等を通じて、多様な人材が活躍できる雇用と持続可能な地域経済の確立を目指す事業

【具体的な事業】

- ・農林水産業と特産品の強化
- ・観光・交流によるにぎわい創出
- ・商工業・雇用基盤の強化 等

イ 暮らしやすさの向上と定住促進事業

誰もが安心して住みたいと思える魅力ある「選ばれる町」の実現に向け、生活基盤の整備や安全性の向上のほか、関係人口をはじめとした多様な主体との交流促進等を進める事業

【具体的な事業】

- ・防災・防犯体制強化と定住環境整備の推進
- ・生活利便性の向上と公共交通の充実
- ・移住・定住促進と交流の拡大 等

ウ 安心して子育て・暮らせる福祉・医療体制の強化事業

結婚・出産・育児への切れ目ない支援と、医療・福祉体制の充実を図り、世代を問わず誰もが心身ともに健康で自立して暮らせる社会の構築を目指す事業

【具体的な事業】

- ・安心して子どもを産み育てられる環境の整備
- ・健康・医療等体制の強化 等

エ 人財育成と郷土愛の醸成事業

郷土学習やキャリア教育、多世代交流等を推進し、地域への愛着と誇りを育み、次代を担う人財が活躍できる環境を整備する事業

【具体的な事業】

- ・郷土学習と文化の継承の推進
- ・生涯学習と多世代交流の充実
- ・青少年の健全育成と次世代人財の発掘 等

※なお、詳細は第3期野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

200,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町のホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで